

2018年11月19日

ARを活用した訪日外国人向けルート案内の実証実験に着手します ～年齢・言語を問わない「シームレス案内」を構成する要素技術の検証（第2弾）～

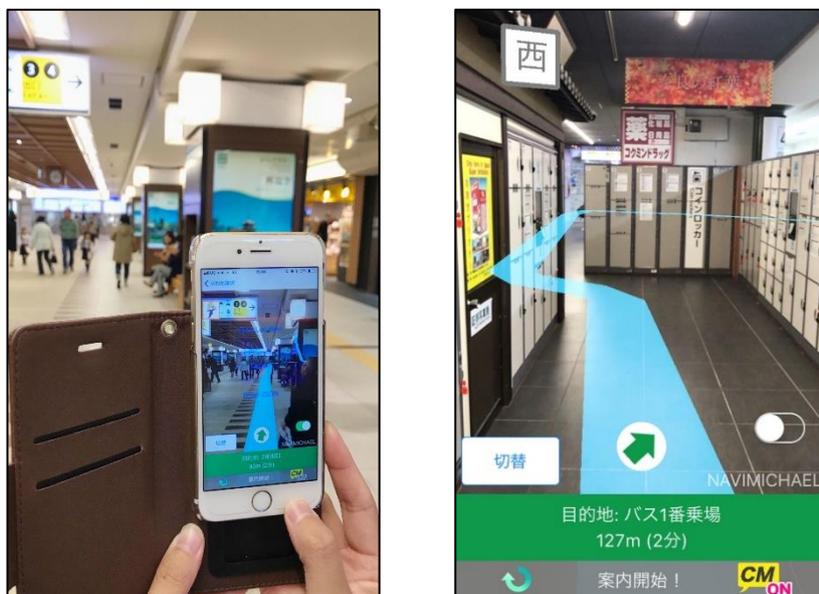
近鉄では、スマートデバイスを活用した訪日外国人向け観光案内サービス「シームレス案内」（別紙2参照）の第2弾として、ARを活用したルート案内の実証実験を2018年11月20日（火）、21日（水）の2日間、近鉄奈良駅で実施します。

この実証実験では、これまで難しいとされていた、屋内から屋外、屋外から屋内へのルート案内を体験することができます。これは、近鉄が今夏、訪日外国人のお客さま向けに実証実験を実施した、対話や画像に対応したコミュニケーション Web サービス「奈良ガイドボット」に、「ARを活用したルート案内」機能を付加したものです。スマートフォンの画面に表示される実際の風景に、屋内外に関わらず目的地までのルートをカーペットのように表示する技術を使って、より分かりやすいルート案内の実証実験を実施します。

今回の実証実験でシームレスなルート案内の機能に加え、歩きスマホによる衝突防止など、安全面の検証および課題を抽出することにより、お客様が目的地までスムーズに移動できるよう実用化に向けて取り組んでまいります。

なお本実証実験は、（株）ゼンリン、（株）ゼンリンデータコム、（株）写真化学、（株）SCREEN アドバンスドシステムソリューションズの協力により実施します。

本実証実験の詳細は別紙1のとおりです。



本実証実験によるサービスの利用イメージ図

別紙 1

1. 実証実験の概要

①実施期間

2018年11月20日（火）、21日（水）10時から15時まで（予定）

②実施場所

近鉄奈良駅構内

③実施方法

現地にて本実証実験にご協力いただけるお客さまに実際に機能を体感いただき、アンケートにご協力いただくことで機能検証および課題の抽出を行います。

※実証実験にご協力いただくお客さまは現地にて弊社社員よりお声がけさせていただく想定です。

2. 検証項目

- 屋内から屋外、また屋外から屋内に移動した際の位置測位が円滑に行え、シームレスなルート案内が実現できるか検証します。
- サービスの利用者がサービス利用中に周辺の歩行者などに衝突するなどの危険が発生しないための機能を検証します。
- 他のスマートデバイスの機能やサービスとの連携について問題がないか検証します。

3. 「ARを活用したルート案内」機能で用いる技術

- ARを活用した画像認識技術
- PDRなどのスマートフォンに搭載された技術
- GPSに代表される衛星測位技術
- 上記の技術を一体化したスマートデバイス向けアプリケーション

※AR …Augmented Reality 実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示するもの

※PDR…Pedestrian Dead Reckoning スマートフォンに搭載されたさまざまなセンサー類を組み合わせ、駅設備などに位置発信装置をつけずに自位置を推定する手法

4. 本実証実験における各社の役割

近鉄

- 鉄道事業にとって有効な要素技術の活用方法を見極めます。
- 鉄道施設内でのスマートフォン利用についての要件検討と安全性を確認します。

ゼンリン・ゼンリンデータコム

- 住宅地図をベースにした詳細地図および駅構内から駅周辺の歩行者ネットワークデータを活用したナビゲーション機能を提供します。

写真化学

- 鉄道施設でARナビゲーションを行う上での地図表現や、歩きスマホ対策のパターンを提供します。

SCREEN アドバンストシステムソリューションズ

- 本実証実験用アプリケーションを提供します。

（以 上）

【 シームレス案内とは 】

年齢・言語を問わず、すべてのお客さまに鉄道サービスを円滑にご利用頂くためのご案内サービス

- ・現在地から目的地までをトータルのご案内
- ・年齢・言語に関係なく、直感的な操作による視覚的なご案内

【 サービスのイメージ 】

① 目的地の把握



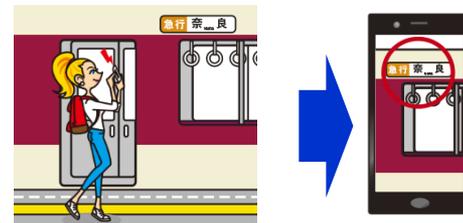
スマートフォンにて位置情報を把握し、目的地を入力すれば、交通・ルートをご案内

② 鉄道利用のご案内



スマートフォンで券売機をかざせば、利用方法をご案内

③ 電車乗車時のご案内



電車の行先表示をスマートフォンをかざすとニーズに合っている電車かどうかご案内

④ 電車降車時のご案内



降車駅の接近を検知し、スマートフォンへご案内

⑤ 駅から目的地までのルート案内



スマートフォン上に駅構内や駅から目的地までのルートをご案内

7/27着手内容

今回の実証
実験の対象